

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	1/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 1. 化学品及び会社情報

### 化学品の名称

製品名: クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)  
カタログ番号 40200073, 40200072

容器サイズ: 500 ml, 1 l

### 推奨用途及び使用上の制限

用途: 材料観察試料の包埋用

使用上の制限: 使用してはならないとされる用途は特になし。

### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)  
Pederstrupvej 84  
DK-2750 Ballerup  
Tel: +45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス  
〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13  
高輪ミュージビル1F  
ソリューションセンター  
Tel: 03-5488-6207  
Fax: 03-5793-1081

安全性データシートのオーサリングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI  
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら：  
struers@struers.dk

### 緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 ( 365日 24時間対応 ) 072-727-2499, つくば中毒110番 ( 365日 9時～21時対応 ) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス)  
(営業時間のみ)

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	2/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類:  
引火性液体2  
皮膚腐食性 / 刺激性2  
皮膚感作性1  
特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 ) 3 , 気道刺激性

### ラベル要素



危険

内容物: メタクリル酸メチル  
アセトン

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

### 他の危険有害性

製品は引火性が高く、標準室温でも爆発性蒸気/空気混合物を生成することがある。

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

## 3. 組成及び成分情報

### 混合物

本製品は下記を含む：有機溶媒、結合剤及び添加剤。

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	3/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理 番号" / "化審 法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
60-100	80-62-6	201-297-1	2-1036	メタクリル酸メチル	引火性液体 区分2 特定標的臓器毒性 ( 単回 暴露 ) 区分3 ( 気道刺激 性 ) 皮膚刺激性 区分2 皮膚感作性 区分1	D
1-<5	67-64-1	200-662-2	2-542	アセトン	引火性液体 区分2 眼刺激性 区分2 特定標的臓器毒性 ( 単回 暴露 ) 区分3 ( 麻酔作用 )	
1-<5	2082-81-7	218-218-1	2-958, 2-1059	1,4-ブタンジオールジメタク リレート	皮膚感作性 区分1B	

## 4. 応急措置

### 応急措置の説明

熱傷: 水で直ちに洗い流す。洗い流している間、患部に付着していない衣服を脱がせる。救急車を手配する。病院への搬送中、引き続き洗い流す。

吸入: 負傷者を空気の新鮮な場所に移し、観察下で安静を保つ。気分がすぐれない場合、病院に搬送し、これらの指示書を持参する。

皮膚への接着: 汚染された衣服を直ちに脱がせ、石鹸と水で皮膚を洗う。湿疹または他の皮膚障害がある場合、医療処置を受け、これらの指示書を持参する。

眼に入った場合: すぐに大量の水で15分間以上、洗い流すこと。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合、医療処置を受け、これらの指示書を持参する。

経口摂取: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。意識を喪失した場合は、これらの指示を持参して病院に搬送する。無理に吐かせてはならない。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

### 医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	4/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

消火剤: 水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥粉末消火薬剤または水霧で消火する。 リスクを伴わない場合には、熱に暴露された容器を水噴霧で冷却し、容器を取り除く。

使ってはならない消火剤: 水噴射は火災を広げることになるため、消火器として使用してはならない。

### 火災時の特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 火災中に、健康に危険有害なガスが生成されることがある。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護具: 消火時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急社員用: 喫煙してはならず、直火または他の発火源を使用してはならない。 蒸気の吸入ならびに皮膚及び目への接触を避ける。 保護措置に関しては項目 8 を参照。

緊急対応要員用: 推奨事項は特にない。 保護措置に関しては項目 8 を参照。

### 環境に対する注意事項

環境対策: 排水溝、水路または地面への放出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 発火源を取り除く。 砂、土または他の不燃材で漏洩をせき止め、吸収する。

### その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目 8 を参照。 廃棄物処理に関しては項目 13 を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全な取扱いに関する勧告: 喫煙や直火その他発火源の使用をしないこと。 蒸気の吸入と皮膚及び目への接触を避ける。 化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。

技術対策: 局所排気を推奨する。

### 保管

安全な貯蔵に関する技術的措置: 引火性液体に関する規則に従う。

貯蔵状態: 厳重に密閉した元の容器で、換気のよい場所に貯蔵する。

### 具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はない。

# 安全データシート

製品名:	クロロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	5/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理 番号:	JP-JA/15.1

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度等

管理濃度: アセトン: 500 ppm

職業暴露限界:

CAS番号	化学名:	下 記の状 態とし て:	暴露限界:	タイプ:	注:	リファレン ス:
-------	------	-----------------------	-------	------	----	-------------

67-64-1	アセトン	-	200 ppm	470 mg/m3	-	-	JSOH
---------	------	---	---------	-----------	---	---	------

80-62-6	メタクリル酸メチル	-		8.3 mg/m3	-	Sen(2A,2S)	JSOH
---------	-----------	---	--	-----------	---	------------	------

注: Sen(2A,2S): 吸入および皮膚接触により人体にアレルギー反応をおそらく引き起こす。

### 設備対策

設備対策を: 適切な換気を供給する。職業暴露限界を守り、蒸気吸入リスクを最小化する。水供給及び洗眼施設への容易なアクセスを提供する。

人体の保護: 個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選定しなくてはならない。

呼吸用保護具: 換気が不適切であり作業が短時間の場合は、適切な呼吸装置を使用する。タイプ AX のガスフィルター付き呼吸装置を使用する。

手の保護具: 保護手袋を着用する。ブチルゴム手袋を推奨する。液体が手袋に浸透することがある点に注意する。頻繁に交換することが望ましい。手袋材料の浸透時間について情報を提供できる手袋供給者と協力し、最適な手袋を選ばなければならない。  
濃度: 0,1 - 0,2 mm  
浸透時間: 5 分

眼の保護具: ゴーグル/顔面シールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 接触のリスク: 飛散する場合は、エプロンまたは保護衣を着用する。

衛生対策: 作業後、汚染された衣服を脱ぎ、石鹸と水で皮膚を十分に洗う。使用中に飲食または喫煙してはならない。

環境暴露管理: 該当なし。

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	6/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観:	液体
色:	無色
臭い:	エステル。
臭気閾値:	該当なし。
pH:	該当なし。
融点:	該当なし。
沸点:	101 °C
引火点:	10 °C
蒸発速度:	該当なし。
可燃性 (固体、気体):	該当なし。
爆発性:	2,1-12,5 vol%
蒸気圧:	47 hPa (20 °C)
蒸気密度:	該当なし。
比重:	該当なし。
溶解性:	水と混和。
分配係数 (n-オクタノール/水):	該当なし。
自然発火温度 (°C):	該当なし。
分解温度 (°C):	該当なし。
粘度:	該当なし。
爆発性:	製品は引火性が高く、標準室温でも爆発性蒸気/空気混合物を生成することがある。
酸化特性:	該当なし。

### その他のデータ

他のデータ:	揮発性有機化合物 (VOC) : 691 g/l (計算)
--------	-------------------------------

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	7/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

反応性: 使用可能なデータはない。

### 化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

### 危険有害反応可能性

危険有害な反応: 発熱しながら重合する。

### 避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 高温または直射日光への暴露を避ける。

### 混触危険物質

不適合物質: 酸化剤に触れないようにする。

### 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 使用可能な情報はない。

## 11. 有害性情報

### 毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性  
又は眼刺激性 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

呼吸器または皮膚感作性: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合 蒸気は、頭痛、疲労、めまい及び吐き気を起こすことがある。

皮膚への接触: 皮膚に浸透することがある成分を含有する。

眼に入った場合: 刺激を生じ赤目と痛みを起こすことがある。

経口摂取: 刺激性。体内で吸収され、めまい、吐き気及び嘔吐を起こすことがある。

特有の影響: 低濃度でも頻繁な吸入は、刺激、疲労及び記憶障害を及ぼすことがあり、最終的には脳を含む神経系に永久的損傷を起こすことがある。

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	8/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理 番号:	JP-JA/15.1

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態毒性: 製品は環境に危険有害性があるとされていない。

### 残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

### 生態蓄積性

生物濃縮性: 生態蓄積に関するデータはなし。

### 土壤中の移動性

移動性 使用可能なデータはない。

### PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

### その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。



# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	9/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理番号:	JP-JA/15.1

## 14. 輸送上の注意

製品は、危険物の輸送に関する国際規制 ( IMDG、ICAO/IATA ) の対象となります。

国内規制

海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報: 航空法の規定に従う。

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。

### 国連番号

UN 番号: 1866

### 品名

品名: RESIN SOLUTION, flammable - 樹脂粘液、可燃性 (Methyl methacrylate)

IMDG追加情報:

EmS: F-E, S-E

MFAG: 1

### 国連分類

国連分類: 3

### 容器等級

PG: II

### 海洋汚染物質

海洋汚染物質: いいえ。

環境有害物質、固体: いいえ。

### 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。移送時にイエローカードの保持が必要。  
緊急時応急措置指針番号: 127

### MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送: 該当しない。

# 安全データシート

製品名:	クラロシット硬化剤 (CLAROCIT LIQUID)	ページ数:	10/10
最終改訂日:	2020-03-25	印刷日付:	2020-03-25
文書番号:	M0159	安全データシート整理 番号:	JP-JA/15.1

## 15. 適用法令

### 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

(\*)

#### 特別規定

労働安全衛生法: メタクリル酸メチル、アセトン  
安衛法, 危険物: アセトン  
第一種指定化学物質 (PRTR法): メタクリル酸メチル 最大 100%  
大気汚染防止法: メタクリル酸メチル  
消防法: 第四類 引火性液体, 第一石油類。

#### 国内規制:

化審法  
JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.  
JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の 伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート ( SDS )  
許容濃度等の勧告 ( 2018 年版 )

## 16. その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。: 15.

(\*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。



#### 安全データシートに使用し た略語及び頭字語:

PBT = 難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質。  
vPvB = 高残留性、高蓄積性を有する物質。

#### その他の情報:

GHSによる分類:  
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。  
HP: [www.dhigroup.com](http://www.dhigroup.com).